

IV. 道路関係事業

平成19年度補正予算のポイント

「安全・安心」に直結する防災・震災対策、道路構造物保全対策、交通安全対策のうち、整備効果や地域ニーズの高い事業等を下記のとおり推進する。

<水害等再度災害防止等>

- ・長野県南木曾地区にて道路法面の防災対策を実施。
雨量規制区間の解除に向けた対策については、今回の補正ですべて完了。
- ・災害時のネットワーク機能強化として、東海環状自動車道、名古屋環状2号線、国道23号豊橋バイパス・中勢道路等の整備を推進。

<交通の安全確保>

- ・平成20年度より本格着手予定のリフレッシュ工事のうち、特に老朽化が著しい特定重要港湾名古屋港と四日市港を結ぶ一般国道1号伊勢大橋(三重県)等について、先行的に橋梁補修工事を実施。
- ・全国の自動車専用道路10kmあたりの死亡事故発生件数がワースト1の一般国道25号名阪国道において、ワースト1返上を目的とした交通事故対策として、壬生野ICを含む4箇所の本線との合流部に注意喚起情報板、路面標示等の緊急対策を一体的に実施。

1. 平成19年度 道路関係直轄事業費等一覧表

(単位:百万円)

項 目	平成19年度事業費			事業費計 (A+B)
	当初等 (A)	補 正		
		歳出(B)	(ゼロ国債)	
道路整備関係	181,698	18,978	2,220	200,676
交通円滑化事業費	79,809	8,426	850	88,235
地域連携推進事業費	74,630	8,332	1,050	82,962
直轄道路維持修繕費	26,075	2,220	320	28,295
雪寒地域道路事業費	1,184	0	0	1,184
道路環境整備関係	70,341	2,650	2,072	72,991
交通連携推進事業費	2,830	150	0	2,980
沿道環境改善事業費	37,895	1,770	1,580	39,665
交通安全施設等整備事業費	9,517	580	102	10,097
交通事故重点対策事業費	14,629	150	390	14,779
電線共同溝事業費	5,470	0	0	5,470
事業費計	252,039	21,628	4,292	273,667
道路調査費	882	0	0	882
直轄道路等災害復旧費	0	0	0	0
附帯及び受託工事費	6,763	0	0	6,763
道路関係事業費計	259,684	21,628	4,292	281,312

注)※1:当初等には、12月までの追加配分(調整費等)を含む。

※2:事業費計には、ゼロ国債は含まない

2. 平成19年度 道路関係補助事業費一覧表

(単位:百万円)

区分	岐阜県		静岡県		愛知県		三重県		合 計	
	補 正		補 正		補 正		補 正		補 正	
	歳出	ゼロ国債	歳出	ゼロ国債	歳出	ゼロ国債	歳出	ゼロ国債	歳出	ゼロ国債
交通円滑化事業費補助			50		450	120			500	120
地域連携推進事業費補助	1,030		100	710	150	600	348		1,628	1,310
雪寒地域道路事業費補助									0	0
交通連携推進事業費補助							460		460	0
沿道環境改善事業費補助				80					0	80
交通安全施設等整備事業費補助					280		156		436	0
電線共同溝整備事業費補助									0	0
沿道環境改善事業費補助									0	0
地方道路整備臨時交付金									0	0
道路事業資金収益回収特別貸付金									0	0
道整備交付金									0	0
合 計	1,030	0	150	790	880	720	964	0	3,024	1,510

注)※1:道路関係補助一覧表には、交通調査費補助、河川等関連公共施設整備促進事業費補助、後進地域特例法適用団体等補助率差額、

市街地環境改善促進事業費補助、住宅市街地総合整備促進事業費補助、都市再生推進事業費補助の道路整備特別会計は含まれません。

※2:名古屋区分は愛知県に、また、静岡市、浜松市分は静岡県に含んでいます。

一般国道19号 南木曾地区防災対策（直轄事業）

事業費0.5億円（歳出）

1. 事業箇所

長野県木曾郡南木曾町読書

2. 事業概要

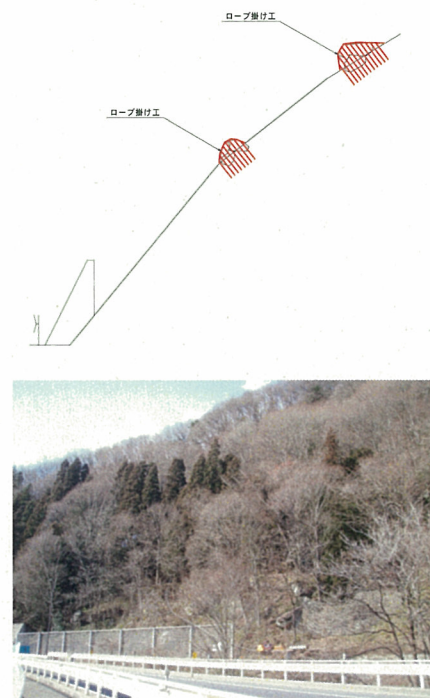
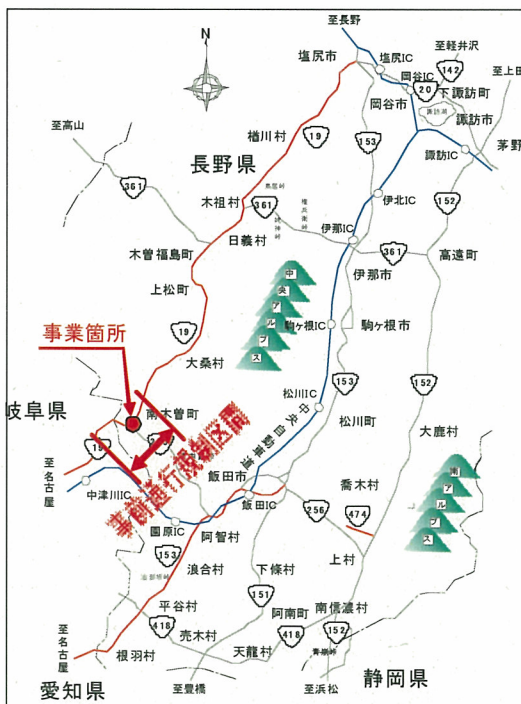
一般国道19号は、愛知県名古屋市を起点とし当該地域を經由して長野県長野市に至る主要幹線道路であり、長野県が策定した「緊急輸送道路ネットワーク計画」の中で第一次緊急輸送道路に指定されている。

一方で、木曾地域は急峻な山に挟まれ近辺に迂回路がなく国道19号が唯一の幹線道路であるため、災害発生による通行規制は、地域に多大な影響を及ぼすため、防災対策箇所について鋭意事業を進めているところである。

当該箇所は、雨量通行規制区間に指定されており、また、のり面には落石の恐れのある岩が点在しているため防災対策必要箇所となっている。

このため、防災対策を行うことにより安全で円滑な交通を確保し、事前通行規制区間の早期緩和を図るものである。

〈対策概要〉



3. 整備効果

主要幹線道路としての信頼性を高め、台風等の異常気象時における安全性の向上を図るため、のり面防災工事を実施。雨量規制区間の解除に向けた対策については、今回の補正ですべて完了。

一般国道475号 東海環状自動車道（直轄事業）

事業費30.41億円（歳出）

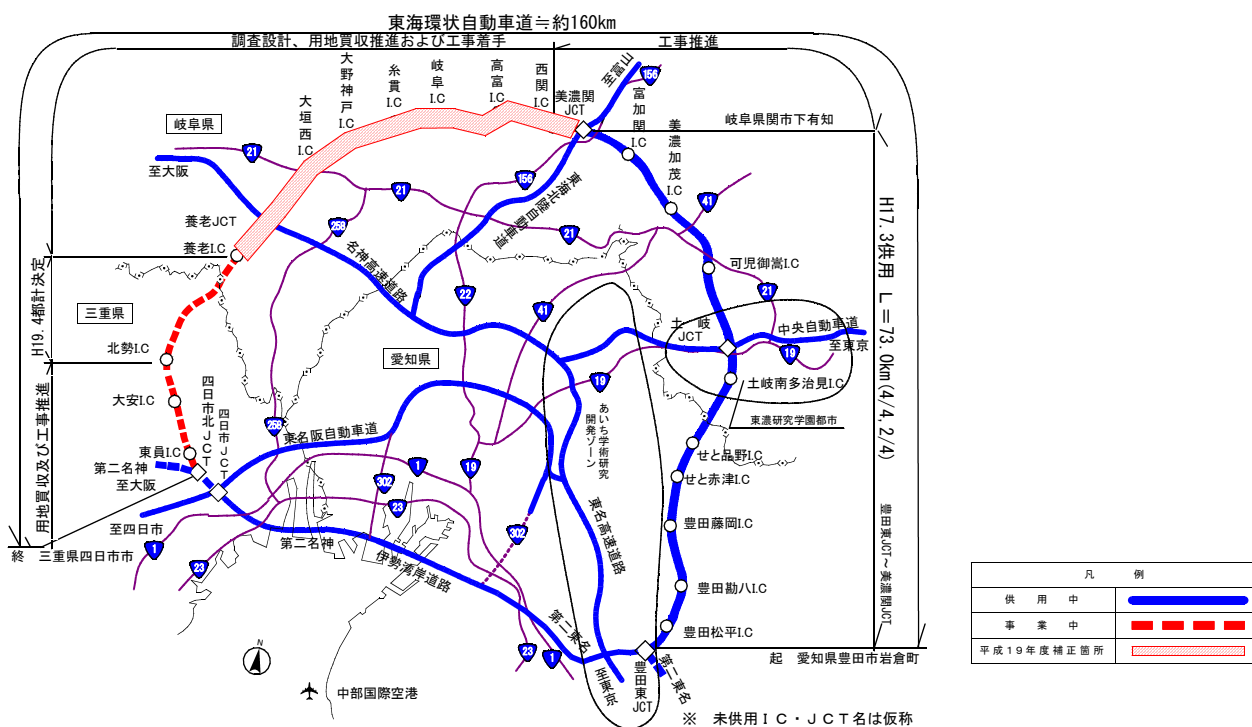
1. 事業箇所

愛知県豊田市～三重県四日市市

2. 事業概要

一般国道475号東海環状自動車道は、名古屋市を中心に半径30～40km圏に位置する豊田・瀬戸・岐阜・四日市等の諸都市を相互に連絡し、第二東名・名神等と一体となって、名古屋圏の環状道路を形成する延長約160kmの一般国道の自動車専用道路です。

H19補正予算の充当により、早期に地震等災害時のネットワーク機能の確保を図るため、美濃関JCT～西関IC間について、平成20年度供用に向け整備促進を図るとともに、平成19年度に着工した大垣西IC～養老JCTの下部工事の本格展開を図る。（未供用IC・JCT名は仮称）



3. 整備効果

東海環状自動車道の開通により、以下の効果が期待される。

- ◆災害時ネットワーク機能の強化（都市間の所要時間短縮、非常時の迂回機能）
 - ・岐阜市・関市から大垣市まで45分でアクセスが可能。（25分短縮）

一般国道302号 名古屋環状2号線（直轄事業）

事業費 22.85 億円 うち 20.65 億円（歳出）

うち 2.20 億円（ゼロ国債）

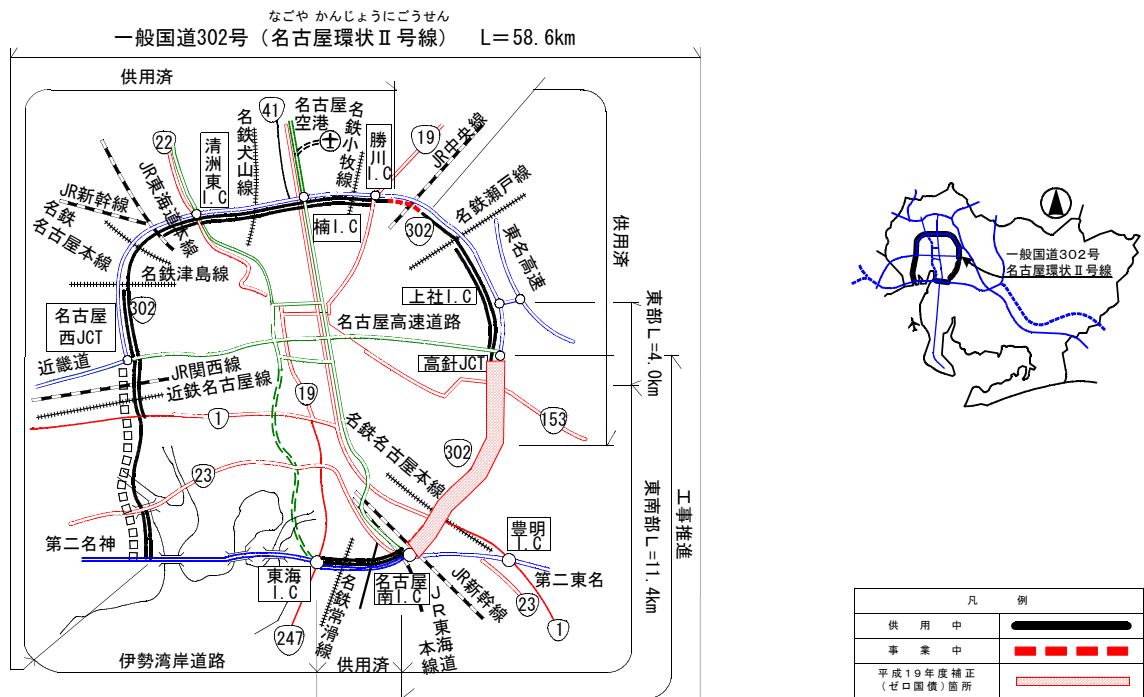
1. 事業箇所

名古屋市中川区富田町～名古屋市中川区富田町

2. 事業概要

一般国道302号名古屋環状2号線は名古屋市街部の外縁を形成する環状道路で、市内から放射状に伸びる幹線道路や名古屋高速道路と主要地点で連絡し、都市内の渋滞を緩和することなどを目的とした道路である。

H19補正予算の充当により、早期に地震等災害時のネットワーク機能の確保を図るため、平成22年度供用予定の東部・東南部区間において、橋梁・改良工事等を推進する。



3. 整備効果

東部・東南部区間の開通により、以下の効果が期待される。

- ◆災害時ネットワーク機能の強化（都市間の所要時間短縮、非常時の迂回機能）
 - ・上社JCTから名古屋南JCTまで15分でアクセスが可能。（30分短縮）

一般国道23号 豊橋バイパス (直轄事業)

事業費50.99億円(歳出)

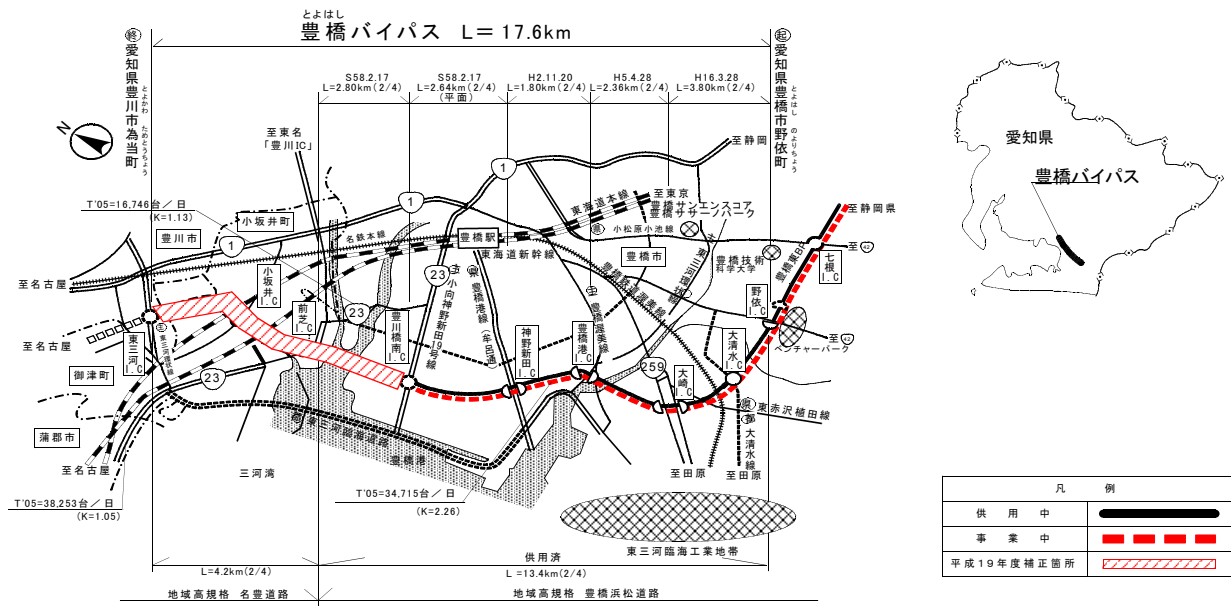
1. 事業箇所

愛知県豊橋市野依町～愛知県豊川市為当町

2. 事業概要

一般国道23号豊橋バイパスは「豊橋浜松道路」、「名豊道路」の一部を構成し、豊橋市街部の一般国道1号、23号及び259号の交通混雑の緩和と東三河臨海工業地帯の地域開発等を目的としており、三河港と直結した緊急輸送道路としての役割も担う道路である。

H19補正予算の充当により、前芝IC～東三河IC間の上部工事に本格着手するなど、豊橋バイパスの早期全線供用に向けた整備を推進する。



3. 整備効果

豊橋バイパスを含む名豊道路の開通により、以下の効果が期待される。

- ◆災害時ネットワーク機能の強化(都市間の所要時間短縮)
 - ・豊橋から名古屋まで約1時間でアクセスが可能。(約50分短縮)
 - ・豊橋から浜松まで約40分でアクセスが可能。(約30分短縮)

一般国道23号 中勢道路 (直轄事業)

事業費 25.0 億円 うち 20.5 億円 (歳出)

うち 4.5 億円 (ゼロ国債)

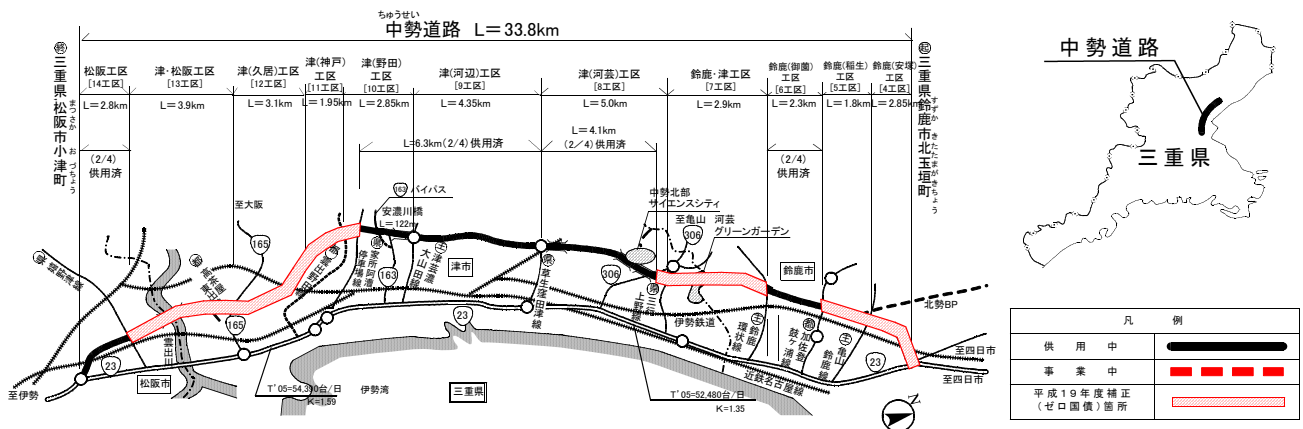
1. 事業箇所

三重県鈴鹿市北玉垣町～三重県松阪市小津町

2. 事業概要

一般国道23号中勢道路は、交通混雑の緩和とバイパス周辺の適切な土地利用を図り、地域経済の発展に寄与するとともに、集中豪雨による道路冠水などの災害の影響が小さい位置を通過しており災害時の緊急物資輸送路としての役割も担う道路である。

H19補正予算の充当により、津・松阪工区（津市高茶屋小森町～松阪市嬉野新屋庄町）の平成23年度供用に向けた橋梁工事を推進するとともに、改良工事にも本格着手するなど、中勢道路の早期全線供用に向けた整備を推進する。



3. 整備効果

中勢道路の開通により、以下の効果が期待される。

- ◆災害時ネットワーク機能の強化（都市間の所要時間短縮、非常時の迂回機能）
 - ・四日市・亀山から伊勢志摩・東紀州までの所要時間が約30分短縮。
 - ・集中豪雨による道路冠水など、災害時の緊急物資輸送路としての役割が期待。